

## 日本風景街道「紀伊半島三県交流会」の結果概要（報告書）

日時：平成20年2月17日（日）13:30～17:00  
場所：三重県立熊野古道センター 交流ロビー  
（三重県尾鷲市向井12-4）  
参加者：三県の風景街道6ルートから約70名  
・活動団体約30団体、約50名  
・行政団体約10団体、約20名

参加ルート 日本文化のクロスロード 日本風景街道伊勢街道 御所まち近世景観街道 日本風景街道まほろば 日本風景街道熊野 日本風景街道伊勢熊野みち
--

### 概要：

当交流会は、①日本風景街道の取組がさらに活発になること、②取組のヒントを発見すること、③活動団体間のつながりをつくることを目的に開催し、活発な意見交換や交流が行われました。参加者からは、「県域を越えた有意義な交流会であった」「次回は時間をかけて交流したい」「今後も継続的に開催してほしい」等の意見が寄せられ、活動団体間の連携の第1歩となりました。

### 内容：

#### 13:30 開会

主催者(日本風景街道伊勢熊野みち会長 室谷氏)挨拶

日本風景街道はこれまでの活動を大きくステップアップさせるいい機会を与えてくれた。この交流会により、これまでの活動をより充実し、意見交流により連携を深め、新しい取組を紀伊半島を中心に活動できると考える。

#### 13:40 基調講演(東京工業大学 中村名誉教授)

風景街道はこれから固めていくので、よくわからない。よくわからないから魅力である。風土、伝統、文化が国の魅力となる。日本風景街道で人が交流し、文化の交配、外からの批評により新しい文化が生まれる。新しい文化が観光につながる。日本風景街道は最も文化効果を生み出せるものである。日本風景街道では、自分たちの生活や文化を良くしていくことを目標にすべきである。また、日本固有の文化など、残していきたいものは継承していくことが必要である。

#### 14:30 ルート紹介

- 日本文化のクロスロード(NPO法人八木まちづくりネットワーク 好川氏)  
宿場町の面影を残す旅籠などの歴史的な建造物を活かした町づくりをしている
- 日本風景街道熊野(NPO法人花つぼみ 古守氏)  
熊野古道など豊富な地域資源を活かした景観づくり、町づくりをしている
- 日本風景街道伊勢街道(紀伊半島交流会議伊勢街道分科会 裏氏)  
伊勢本街道、初瀬街道で歴史や文化を活かした景観づくり、町づくりをしている
- 御所まち近世景観街道(NPO法人ごせまちネットワーク創 楠氏)  
歴史資料を活用して、景観を意識した上で人中心の道づくりをしている
- 日本風景街道まほろば(奈良県道路建設課 内田氏)  
かつての都を結び、重要な古代史跡を楽しく巡る取組をしている。
- 日本風景街道伊勢熊野みち  
熊野古道を軸に道から見える景観づくり、訪れる人との交流づくりをしている

#### 15:00 中村先生の意見・感想

これからは、風光明媚な地域で、美味しいものを食べて、楽しい体験ができることが最高の幸せとなる。このような場所に人は住んでみたいと思ひ、集まってくる。その結果が観光に結びつく。ここに住んでみたいと思われる環境づくりが大切である。

#### 15:20 休憩

#### 15:30 班別意見交流及び全体意見発表

詳細は別紙。

#### 16:45 閉会

中部地方整備局道路部計画調整課本橋課長様の意見・感想

班別意見交流で各班とも同じような意見が出されていることは、問題点などが共通しているといえる。風景街道では、このようなものを少しずつ解消し、さらに活動を伸ばしていくことが必要である。